日本流通新聞　2019.03.25付

東ト協 GEPセミナー 1年に144回開催、1000人超参加

東京都トラック協会（浅井隆会長）の目玉事業でもあるエコドライブ活動のグリーン・エコプロジェクト（GEP）。この活動で、GEP参加事業者の管理者（経営者含む）向けのセミナーも実施している。

同セミナーの18年度開催は144回。参加人数が1170人（総数）だったことが15日、環境委員会（青柳保之委員長）で明らかになった。

GEPは、経営者、管理者、ドライバーの従業員一人一人が環境意識の向上による社会貢献、社会責任を主軸とした「環境CSR」を掲げ、「環境から進める経営改善」を目指している。

そのためのレベルアップセミナーを開催。自社の業務を継続的に改善するための「PDCAサイクル」（計画・実行・評価・改善）を軸として、ドライバーをやる気にさせるノウハウなど具体的な社員教育方法などを含め実施している。

セミナーは、第1回～第4回までステップアップし、第4回セミナー修了者は、さらにレベルアップへ継続セミナーを受講できる。また、クラウドを運用できる「データ活用」セミナーも要望に応え開講している。

一年でセミナーを14回開催、1千を超える参加人数は、注目に値する事業だ。

東ト協環境部では、「セミナーは少数精鋭が基本。ディスカッションなども交えており、ドライバー教育に効果が出ると喜んでいただいています」（前川宣将次長）と謙虚に語っている。